

巻頭言

総合型地域スポーツ

～幼児・児童のあそび環境の変化と新しい環境づくり～

げんげ
紫雲英、かつて緑肥として田畑に栽培されていたレンゲ草のことですが、化学肥料の普及もあって最近ではすっかり見かけなくなってしまいました。子どもたちはもちろん、その両親でさえレンゲ草の花を摘んで首飾りや腕輪を編むという体験がないかも知れません。池や小川での魚捕りはどうでしょう。草相撲、草野球、馬跳び、缶蹴り、そうした、かつては誰もが体験していた外あそびを体験しないまま親になっているということはないでしょうか。石けり、縄跳び、ゴム跳び、陣取り、刑泥など、もはや過ぎ去った昔の懐かしい記憶でしかないのかも知れません。

日曜日に地域に出て、意識して子どもたちの姿を探すのですが、なかなか見つかりません。路地にも、駄菓子屋の店先にも、公園にも子どもたちの姿はありません。児童公園と呼ばれる場所でも、子どもではなくポツンと日向ぼっこをする老人を見かけたりするのです。

幼稚園や小学校に行けば、いかに少子化とは言え多くの幼児や児童がいるのです。それがまるで神隠しにでもあったかのよう
に青空の下から子どもが姿を消してしまったのです。

ある子どもは、部屋の中にいました。テレビの前にいました。テレビゲームやDSを手にしていました。また別の子どもは、塾で偏差値向上に取り組んでいました。親に強制されてお稽古ごとをしている子どももありました。子どもたちのあそびは、外あそびから内あそびに変化し、同時に集団でのあそびが少なくなり、少人数化が進んで一人あそびが多くなりました。群れあそびがなくなってきたのです。

こうした子どもたちとは別に、多くの子どもの姿を見つけました。水泳をしています。ソフトボール、バスケットボール、そして

サッカーなどをしています。つまり、いわゆるスポ少、スポーツ教室、課外クラブ、そうした空間に子どもたちは身を置いていたのです。

子どもたちにとっての望ましい時間の使い方とは別に、確かに子どもたちのあそびやスポーツに費やす時間は少なくなっています。また、あそびやスポーツの空間が減少していることも事実でしょう。そして何よりも群れあそびの集団がなくなって、あそびやスポーツの内容・方法の伝承が行われなくなったのです。青空の下から子どもが姿を消したのは、こうした背景があったからではないでしょうか。

鬼ごっこや草野球に代わるものとして、水泳やサッカーなどの少年期のスポーツを位置づけることもできます。集団で取り組むからこそさまざまな体験、礼儀、友情、自己実現など、幼少期の子どもの発達に欠かすことのできない多くのことが学べるに違いありません。ただ、そこに熱中するあまり、時間の使い方やスポーツの内容に著しい偏りができる心配もあります。陥りがちな勝利至上主義がさまざまな弊害をもたらすという警鐘も聞こえてきます。小学校体育の内容とも関係してきますが、幼少期から野球づけだったので泳げないとか、水泳づけだったのでボールがうまく投げられないとか、そういうことのないようにしたいと思うのです。

失われた少年期のあそびやスポーツを取り戻すには、失われた空間と時間を取り戻さなくてはなりません。そこに、かつてのガキ大将の役割を担った「人」を配置し、スポーツを核としながらも、地域の間人関係を構築し、文化の伝承も行っていく、それが総合型地域スポーツ振興の願いだと思ふのです。



財団法人福島県体育協会副会長
藤田 彌五兵衛

も く じ

- | | |
|---------------------------|---|
| ① 冬の各イベント | ⑪ スノーフェスタ2008in猪苗代湖畔の森 |
| ② 巻頭言 | ⑫ スノースポーツフェスタ2008inただみ |
| ③ 第63回 国民体育大会冬季大会成績 | ⑬ 平成19年度「福島県スポーツ指導者研修会
体育施設とスポーツ教室の紹介「表郷天狗山球場」 |
| ④ 平成19年度 優秀指導者養成事業 | ⑭ みんなでつくる「総合型」はなわふれあいスポーツクラブ |
| ⑤ 平成19年度 うつくしまスポーツキッズ発掘事業 | ⑮ スポーツと健康「ランポイント講座 |
| ⑥ 財団法人福島県体育協会 平成19年度表彰式 | ⑯ 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿
編集後記 |
| ⑦ ウィンタースポーツに親しもう！ | |

第63回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー 競技会	平成20年 1月26日 ～2月1日	長野県 長野市 軽井沢町	山口 勇	2	14	4	24 (3)	42 (3)
	スキー競技会	平成20年 2月19日 ～2月22日	長野県 野沢温泉村	浅川 静英	1	13 (3)	8 (10)	44	65 (13)

2 競技成績

大会	区分	男女総合得点(天皇杯)				男女総合得点(天皇杯)			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会	スケート競技会	6.0点	10点	16.0点	25位	0.0点	10点	10.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	11位	—	—	—	—
	スキー競技会	5.0点	10点	15.0点	16位	5.0点	10点	15.0点	9位
合	計	11.0点	30.0点	41.0点	27位	5.0点	20.0	25.0点	22位

(参考:第62回国民体育大会冬季大会)

大会	区分	男女総合得点(天皇杯)				男女総合得点(天皇杯)			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会	スケート競技会	7.0点	10点	17.0点	25位	0.0点	10点	10.0点	20位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	13位	—	—	—	—
	スキー競技会	17.0点	10点	27.0点	10位	8.0点	10点	18.0点	8位
合	計	24.0点	30.0点	54.0点	25位	8.0点	20点	28.0点	21位



スピードスケート
成年男子500mで5位
入賞した野内俊吾
(福島北高教) 右側



スピードスケート
成年男子2000mRで
7位入賞した福島県チーム



アイスホッケー
成年男子1回戦
対鳥取戦で5対4で辛勝した



ショートトラック
成年女子500m予選
先頭を滑る、渡邊 唯
(山梨学院大)

3 入賞状況

● スケート競技 競技得点6.0点 天皇杯25位 皇后杯21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スピード 500m	5	4	野内俊吾	福島北高校教員
	スピード 2000mR	7	2	福島県	
				清水秀昭	郡山萌世高校教員
				本田浩史	東北乳運
				高橋千昭	郡山北工業高校
				野内俊吾	福島北高校教員

● スキー競技 競技得点5.0点 天皇杯16位 皇后杯9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	Bクロスカントリー	5	4	宗像千佳	郡山自衛隊
女子	クロスカントリーリレー	8	1	角咲枝	会津学鳳高校2年
				小熊理恵	会津学鳳高校3年
				宗像千佳	郡山自衛隊
				橋本詩歩	猪苗代吾妻中学校3年
				平野桃子	南会津高校1年



クロスカントリー成年女子B500mで5位入賞した宗像千佳(郡山自衛隊)



クロスカントリー女子リレーで8位入賞した福島県チームのメンバー



大会会場に掲げられる「がんばれふくしま」の横断幕



成年男子Bジャイアントスラローム滑走する手代木伸之(磐梯リゾート株)

平成19年度

優秀指導者養成事業

県内の競技スポーツのレベルを向上させるため、優秀指導者養成事業が行われた。昨年に引き続き、ゴール型競技の若手指導者を対象に、2回にわたる講習会を実施した。

対象競技をゴール型に指定したのは、その競技特有の技術や戦略等、専門性を活かした指導法を習得するため、昨年から6競技を対象とした。



対象競技：バスケットボール、サッカー、ハンドボール、ラグビー、ホッケー、アイスホッケー

第1回

講師 勝田 隆(仙台大学)
日時 平成20年2月7日(木)
場所 ふくしま市町村建設支援機構
 テーマ「競技力向上のための情報戦略」



講師の勝田 隆先生



話し合いを見守る講師

勝田隆先生は昨年に引き続き講師としてお願いした。勝田先生は日本ラグビー協会コーチの経験があり、現在、日本オリンピック協会の情報戦略を担当している。ラグビーだけでなくとどまらず、スポーツのあらゆる情報を扱っていることから、本事業の講師として幅広い情報や知識を提供していただいた。

アルゼンチンの子ども達が遊んでいる風景のビデオから、何が読み取れるのか、情報の収集等について講義を受けた。



講習生代表謝辞



講師の白石 豊先生

講師 白石 豊(福島大学)
日時 平成20年3月6日(木)
場所 ふくしま市町村建設支援機構
 テーマ「試合で実力を発揮させるメンタルトレーニング」

第2回

白石先生は日本のスポーツ心理学の権威で、プロスポーツ選手を含め多くの競技者をメンタルサポートしている実績がある。17年度に終了したビクトリー強化コーチ事業や、日本一育成モデル事業においても協力いただき、多くのスポーツ関係者から支持されている。

今回の講習は、指導者が現場で抱える課題を質疑応答する形式を取った。「審判のジャッジに納得できない」場合、「変えられないものに対しては反応してはいけない」と心を制御すること。感情のコントロールは重要である等、参加した指導者から多くの課題があげられ、白石先生はその一つひとつの解決法を適切に答えていた。



平成19年度 うつくしまスポーツキッズ 発掘事業

子ども達が、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や意欲を持つこと。また、この時期に、様々な運動経験を積み、発育発達の成長を促すことを目的として行ってきた本事業は、今年で3年目を迎えた。

県内の小学2年生から5年生までの児童を対象に、第1ステージでスポーツキッズテストを実施し、選考したキッズを一貫指導に基づいたトレーニングを実施させることで、才能を発掘するものである。

第1ステージ

キッズテストは6月から7月にかけて、県内5会場で測定を行った。県内全ての小学校に募集をしたところ、約900通の応募があり、492名の子ども達の測定を実施することが出来た。

選考の結果、55名が選ばれ、昨年の5年生13名を含め、68名が第2ステージに進んだ。

第1ステージ(キッズテスト)日程

実施日	地区	会場	参加数
6月2日(土)	県南	須賀川アリーナ	130名
6月17日(日)	会津	会津ふれあい体育館	74名
6月23日(土)	相双	大熊総合スポーツセンター	73名
6月30日(土)	いわき	いわき市立総合体育館	78名
7月7日(土)	県北	あづま総合運動公園	137名



閉眼歩行



実施内容(種目)

反復横跳 [cm]	四方向ステップ [秒]
閉眼歩行 [cm]	動的平衡性テスト[点]
立幅跳 [cm]	全身反応テスト [秒]
立五段跳 [cm]	しっぽ取りゲーム[点]
2.5m走 [秒]	※VTフットボール投げ [km/h]
	(※4・5年生のみ実施)

参加者数	男子	女子	学年合計
2~3年生	167	136	303
4~5年生	110	79	189
男女合計	227	215	492



しっぽ取りゲーム



動的平衡性テスト



立五段跳の練習をするキッズ

第2ステージ

第2ステージに選考されたキッズは、県体育協会と加盟競技団体が連携して、9月から行われる第2ステージ(クロストレーニング)に参加した。12月まで12回にわたって行われた第2ステージは、1月の合宿を向かえ、生活習慣やコミュニケーション等の訓練を行い、また、2日目には北京五輪候補選手の池田久美子・佐藤光浩・丹野麻美の3選手を迎え、キッズとふれあうプログラム・修了式を実施し、一連の行事を終了した。キッズが講習を受けている間に、保護者のプログラムも行い、栄養学やテーピング等の講習会も実施した。



選考されたキッズ(開始式)



雨の中のラグビー②



トランポリンのトレーニング

第2ステージ(クロストレーニング)の日程

種目	主管団体	日程	会場
陸上競技	県体協(外部指導者招聘)	9月1日(土)	郡山市
水泳(競泳)	県体協(外部指導者招聘)	9月15日(土)	会津若松市
ラグビー①	県ラグビーフットボール協会	10月14日(日)	福島市
テニス①	県テニス協会	10月21日(日)	国見町
テニス②	県テニス協会	10月28日(日)	国見町
ラグビー②	県ラグビーフットボール協会	11月10日(日)	いわき市
アマチュアボクシング①	県アマチュアボクシング連盟	11月17日(土)	福島市
トランポリン	県トランポリン協会	11月18日(日)	郡山市
スケート①	県スケート連盟スピード部	11月24日(土)	郡山市
ハンドボール	県ハンドボール連盟普及部	12月1日(土)	本宮市
アマチュアボクシング②	県アマチュアボクシング連盟	12月9日(日)	いわき市
スケート②	県スケート連盟スピード部	12月15日(土)	郡山市
合宿	県体育協会	1月19-20日	福島市



合宿1日目のバスケットボール



合宿でのミーティング風景



保護者プログラム(テーピング講習)

ふれあいトークのゲスト
佐藤光浩さん・池田久美子さん・丹野麻美さん

修了式



財団法人福島県体育協会平成19年度 表彰式

平成19年度財団法人福島県体育協会表彰式は、11月29日福島市のウェディングエルティで開催されました。

式では各受賞者に佐藤雄平会長より表彰状と記念品が授与され、県議会議員の遠藤保二様と県教育長の野地陽一様より祝辞がありました。

表彰式の後、行われた懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いと激励がなされました。

下記は今回受賞された皆様の紹介です。(敬称は省略させていただきます。所属は成績を残した時のものです。)



あいさつをする佐藤雄平会長

スポーツ功労賞者

(多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々)

- 小松 鴻一(福島県ウエイトリフティング協会)
- 星 益稔(福島県ソフトテニス連盟)
- 西郷 徹夫(福島県卓球協会)
- 阿部 裕和(福島県バドミントン協会)
- 長谷川陽一(福島県水泳連盟)
- 池田 省吾(東北地域連合会)
- 佐藤 彦一(東北地域連合会)
- 大須賀詳一(福島県ソフトボール協会)
- 鈴木 義白(福島県柔道連盟)

優秀選手賞(個人)

(本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手)

- | | | |
|--|--|--|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ●佐藤 光浩(富士通福島) ●菊池 敦郎(順天堂大学 2年) ●丹野 麻美(福島大学 4年) ●吉田 真希子(ナチュリル) ●渡辺 真弓(ナチュリル) ●瓜生 朱音(福島大学 2年) <p>テニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●佐藤 光一(二本松市役所) ●熊谷 良江(アクサ生命保険(株)) <p>卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ●深谷 亮幸(小野高校教員) ●須藤 正徳(会津学鳳高校教員) ●深谷 純子(郡山ザベリオ学園教員) <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山口 雅文(ミズノ(株)) ●加藤 和(桜の聖母学院高校3年) ●高橋 恵美(福島成蹊高校 1年) <p>自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窪木 一茂(学法石川高校 3年) ●本馬 陵(平工業高校 3年) ●相笠 翔太(白河実業高校 3年) <p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松崎 和朗 ●吉田 邦男(スパーズスポーツゼビオ) ●遠藤夫美子 ●増子 トキ <p>アマチュアボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●佐藤 矩彰 <p>柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ●郡司 成晃(田村高校 3年) <p>体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ●田邊 浩仁(会津工業高校 3年) <p>スキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三星 佳代(助福島県体育協会) <p>馬術</p> <ul style="list-style-type: none"> ●吉田 賢人(双葉高校 3年) <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●黒江 雄治(早稲田大学2年) ●金子 和央(福島医療専門学校3年) <p>レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長島 和幸(クリナップ(株)) ●北岡 秀王(クリナップ(株)) ●渡部 悠香(日本体育大学 2年) <p>フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●菅野 慶嗣(川俣高校 2年) ●高木 綾乃(学法福島高校 3年) <p>なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ●渡部 倫生(林合名会社) ●佐藤 遥(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第三中 3年) ●大井川舞奈(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第三中 3年) ●杉原 由唯(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第三中 3年) ●遠藤みゆき(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第一中 3年) ●栗城 源太(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第一中 1年) <p>ボウリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伊藤 丈(栃東北装美) <p>ゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●酒井 美紀(東日大昌平高校 1年) <p>カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小久保南海(二本松北小学校 4年) ●宮田 悠佑(安達高校1年) ●橋本 亜季(鹿屋体育大学 1年) ●小泉 公道(立命館大学 2年) <p>トランポリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●佐藤 文紀(尚志高校 1年) <p>障がい者スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鈴木 猛史(猪苗代高校 3年) | <ul style="list-style-type: none"> ●梶 将徳(白河旭高校 2年) ●田嶋 和也(白河旭高校 2年) ●記野 友晴(会津学鳳高校3年) ●金子佑太郎(会津高校 3年) ●村上 雪菜(磐城高校 3年) ●三浦 茉莉(橘高校 3年) ●薄葉 彩(西郷村立西郷第一中学校 2年) ●大槻 麗(西郷村立西郷第一中学校 2年) ●五十川英美(郡山ザベリオ学園教員) ●深谷 由美(小野高校卓球部コーチ) ●須藤 志津(関柴小学校教員) ●西川 友章(清陵情報高校教員) ●江川 克彦(日本体育大学 3年) ●毛 文輝(郡山女子大学 1年) ●小豆畑郁也(日本大学 4年) ●鈴木 信啓(明治大学 2年) ●我妻 敏(日本大学 2年) ●二瓶 良(帝京安積高校教員) ●本多 裕樹(富岡高校教員) ●菅田 克彦 ●国井 直英 ●須佐 勝明(自衛隊体育学校) ●齋藤 大(法政大学 4年) ●片山聡一郎(磐城第二高校 3年) ●馬上 忠頼(平工業高校 3年) ●籠島 遼(福島新体操クラブ福島市立平野中 3年) ●上野 修(チームリステル) ●吉田 学人(双葉高校 3年) ●細川 政彦(川俣高校3年) ●加藤 温恭(勿来工業高校3年) ●渡部 友章(日本体育大学 1年) ●渡部 沙織(田島高校 3年) ●福田 広樹(田島高校 3年) ●高橋 利生(勿来第一中学校 3年) ●大滝 理子(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第一中 2年) ●芦澤理恵子(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第二中 2年) ●石井 有希(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第二中 2年) ●栗城 太雅(会津なぎなたスポーツ少年団会津若松市立第一中 3年) ●佐藤 里咲(会津なぎなたスポーツ少年団)会津若松市立城西小 4年) ●竹俣 茉耶(会津若松ザベリオ学園高校 3年) | <ul style="list-style-type: none"> ●関内 瑛(いわき市立磐崎中学校3年) ●五十嵐麻央(会津若松市立第三中学校3年) ●日下 隼(あげつちACいわき市立平第一小6年) ●田子 紋菜(磐城ACいわき市立磐崎小学校6年) ●木田真有(ナチュリル) ●武田 瑠南(喜多方高校 3年) ●鈴木 洋子(いわきママクラブ) ●佐藤 敦子(御山小学校教員) ●瓜生 恵美(喜多方市児童館) ●土屋千恵子(大笹生養護学校教員) ●小林 和真(日大東北高校 1年) ●吉田 佳世(清陵情報高校 1年) ●緑川 修平(福島県自転車競技連盟) ●野尻野匡世(尚志高校 3年) ●木村 百花(富岡第一中学校 2年) ●桃田 賢斗(富岡第一中学校 1年) ●若松 功(いわきバドミントン体操クラブ) ●高橋かほる(オーベルジュ鈴鐘) ●今野 金哉(自営業) ●清野 裕司(福島明成高校教員) ●渡部 一輝(田島高校 3年) ●湯田祐太郎(田島高校 3年) ●佐藤 滋(榎丸や運送) ●和田 藍加(福島医療専門学校) ●久野 綾香(久久野製作所) |
|--|--|--|

優秀選手賞(団体)

(本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体)

- 陸上競技** ●天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100mR福島大学●天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×400mR福島大学●第62回国民体育大会陸上競技会女子4×100mR福島大学●第91回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×100mRナチュラル●第91回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×400mR福島大学●第91回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×400mRナチュラル●第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会共通男子4×100mR福島県選抜
- 野球** ●第29回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会常磐軟式野球スポーツ少年団
- ソフトテニス** ●平成18年度 第18回 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会男子都道府県対抗福島県
- ハンドボール** ●第2回春の全国中学校ハンドボール選手権大会男子郡山市立郡山第一中学校●平成19年度全国中学校体育大会ハンドボール大会女子郡山市立郡山第一中学校
- 卓球** ●第52回全国教職員卓球選手権大会女子団体福島県●第26回全日本クラブ卓球選手権大会団体戦(小中学生女子の部)三浦卓球クラブ●第26回全日本クラブ卓球選手権大会団体戦(小中学生女子の部)本宮卓球クラブ
- 剣道** ●平成19年度全国中学校体育大会剣道大会女子いわき市立平第二中学校
- 自転車競技** ●第62回国民体育大会自転車競技会4km団体追抜競走福島県
- バスケットボール** ●平成19年度全国中学校体育大会バスケットボール大会女子白河市立白河中央中学校●第45回男子全日本教員バスケットボール選手権大会福島教員A●FUJI XEROX CUP 2007第20回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会女子福島県
- バドミントン** ●第46回全日本教職員バドミントン選手権大会福島県●平成19年度全国中学校体育大会バドミントン選手権大会女子団体富岡町立富岡第一中学校
- 弓道** ●第62回国民体育大会弓道競技会成年女子遠的福島県
- ソフトボール** ●第22回全日本壮年ソフトボール大会福島北ソフトボールクラブ
- カヌー** ●平成19年度日本カヌーフラットウォータージュニア選手権大会男子カヤックフォア500m福島県●平成19年度日本カヌーフラットウォータージュニア選手権大会男子カヤックペア500m福島県●平成19年度全国高等学校総合体育大会カヌー選手権大会男子カヤックフォア200m安達高等学校●JOCジュニアオリンピック杯 平成19年度全国中学生カヌー大会男子カヤックフォア500m二本松市立東和中学校●JOCジュニアオリンピック杯平成19年度全国中学生カヌー大会女子カヤックフォア500m二本松市立東和中学校●JOCジュニアオリンピック杯 平成19年度全国中学生カヌー大会女子カヤックペア500m二本松市立東和中学校●第43回全日本学生カヌー選手権大会男子カナディアンペア1000m日本体育大学
- トランポリン** ●第32回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子団体尚志高校
- 綱引** ●2007全日本ジュニア綱引選手権大会MJ3 360kg以下のクラスヤングプラザスポーツ少年団●2007全日本ジュニア綱引選手権大会ユース 480kg以下のクラス若宮スピリッツ

優秀指導者賞

(優秀選手の育成に直接貢献した指導者)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技 ●川本 和久(福島大学)
●鈴木 仁(白河旭高校) 野球 ●天井 正之(常磐軟式野球スポーツ少年団) ソフトテニス ●佐藤 学(福島市立信夫中学校教員) ハンドボール ●横田 哲夫(郡山市立郡山第一中学校教員)
●二瓶 元嘉(郡山市立郡山第一中学校教員) 卓球 ●助川 利夫(本宮卓球クラブ)
●境 頌行(三浦卓球クラブ) 剣道 ●加藤 元康(いわき市立平第二中学校教員) 自転車競技 ●鎌田 弘史(学法石川高校教員) バスケットボール ●渡邊 拓也(本宮高校教員)
●高田 健一(白河市立白河中央中学校)
●久保木 学(白河市立白河中央中学校) | <ul style="list-style-type: none"> 弓道 ●高井 幸子(福島県弓道連盟) 馬術 ●大瀧 康正(大瀧馬事苑) ウエイトリフティング ●小野寺 浩亀(田村高校教員) カヌー ●齋藤 里加(二本松市立東和中学校教員)
●軽部 英敏(安達高校教員) トランポリン ●遠藤 静子(尚志高校) 綱引 ●笠原 則人(ダイハツ福島㈱)
●小野田浩宗(株サンフォート) |
|---|--|

社会体育優良団体賞

(地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体)

福島県卓球協会
郡山市富久山卓球クラブ

特別賞

(国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人)

福島県自転車競技連盟
第62回国民体育大会において、競技別総合優勝を果たした。



表彰を受ける高田渚さん(白河中央中)



受賞者代表謝辞を述べる加藤和さん(桜聖母学院高校)

(財)福島県スポーツ振興基金事業

生涯スポーツキャンペーン

ウィンタースポーツに 親しもう!



生涯スポーツの普及・振興を目的としたイベントとして、県民の皆さんに豊かな自然の中でのスノースポーツ実践の機会を提供するため、本県では冬季のスポーツイベントが目白押しです。

そこで、多くのイベント開催を一人でも多くの県民の皆さんに知っていただくため、福島中央テレビの後援を受け、郡山駅前広場にブースを設けプロモーション活動を展開し

ました。ブースでは各イベントの紹介の他、試食コーナーや地産品の販売、さらには目玉企画としてWiiソフト「ファミリースキー」のタイムチャレンジなどが行われ、最後のお楽しみ抽選会では多くの参加者が会場を訪れました。

参加者は多世代にわたり、大変な盛況ぶりでした。県民の皆さんには今後も日常生活の中で冬のスポーツにも親しんでもらえればと願っています。

ブース一覧

「スノーフェスタ2008in猪苗代湖畔の森」の紹介

「スノースポーツフェスタ2008inただみ」の紹介

広域スポーツセンター「元気な子どもに育てよう!」事業紹介

「FISワールドカップ猪苗代大会」の紹介

福島中央テレビ「ストップ温暖化 チーム・マイナス6%」啓発

各ブースの様子



スノーフェスタ2008in猪苗代湖畔の森



スノースポーツフェスタ2008inただみ



FISワールドカップ猪苗代大会



Wii「ファミリースキー」
タイムチャレンジの様子



お楽しみ
抽選会の様子



(財)福島県スポーツ振興基金事業 生涯スポーツキャンペーン

「スノーフェスタ2008in猪苗代湖畔の森」



本協会では、冬のあいつの自然と歴史・文化などについての理解を深め、ふるさとを愛する心を育んでもらうため、「スノーフェスタ2008in猪苗代湖畔の森」を開催しました。

初日には、福島県自然保護協会の横田清美氏を講師に招き、ネイチャースキー・リーダー養成講座を開催し、午後からは公立藤田総合病院、管理栄養士の山崎有理子氏による「運動と栄養について」の講話をいただきました。

2日目には、オリンピック金メダリストの荻原健司氏を特別ゲストにお招きし、ネイチャースキー体験教室を実施しました。ネイチャースキーは(見る、感じる楽しみ)(歩く、滑る楽しみ)(くつろぐ、食べる楽しみ)と3つの大きな要素を持った、冬の楽しいスポーツで子供から大人、お年寄りの方まで幅広く誰でも参加できます。

猪苗代湖畔の豊かなロケーションの中で、荻原氏をはじめ参加者たちは爽やかな汗を流しました。

期 日
会 場
参加人数

平成20年3月1日(土)~2日(日)

耶麻郡猪苗代町「国民宿舎翁島荘」

・ネイチャースキー・リーダー養成講座..... 30名

〈講 師〉 福島県自然保護協会 横田 清美氏

・スポーツ医事トレーニング相談..... 30名

「運動と栄養について」

〈講 師〉 公立藤田総合病院 管理栄養士 山崎 有理子氏



・ネイチャースキー体験教室..... 87名

〈特別ゲスト〉 荻原 健司氏



合計 147名(延べ人数)

(財)福島県スポーツ振興基金事業

生涯スポーツキャンペーン



「スノースポーツフェスタ 2008 in ただみ」

開催報告

本協会では、スポーツニーズが多様化する中、豊かな福島
島の自然を背景にウインタースポーツや自然体験など、各
種ムーブメントを展開することにより、スポーツの場を提供
し、広く県民に福島の気候特性を活かした生涯スポーツの
一層の普及・振興を図っています。

今年度で2回目となるスノースポーツフェスタでは、雪を
利用したウインタースポーツやレクリエーションを通して、ス

ポーツクラブや人々との交流もあり、親睦と友情を深めるす
ばらしい機会となりました。講演会では、長野オリンピック
カーリング日本代表の敦賀信人氏をお招きし、「夢を叶え
て」という演題のもと、カーリングを通じた地域活性化の事
例を交え貴重なお話をいただき、参加者も熱心に聞き入っ
ていました。



期 日 平成20年3月8日(土)～9日(日)
会 場 南会津郡只見町「季の郷湯ら里」(第1会場)
「多目的活性化広場」(第2会場)

参加人数 ・スノースポーツ体験教室<全9種目>…………… 360名
・スポーツ講演会…………… 80名

長野オリンピック カーリング日本代表 敦賀 信人氏

合計 440名(延べ人数)

実施種目

No	実施種目	トップアスリートスポーツ講演会
1	クロスカントリースプリントレース	長野オリンピック カーリング日本代表 敦賀 信人氏 演題「夢を叶えて」 
2	雪上バレーボール大会	
3	スノーフラッグ大会	
4	スノーモービル体験	
5	雪上フライングディスク大会	
6	そりすべりコンテスト	
7	雪像づくりコンテスト	
8	かまくら体験	
9	イベント写真コンテスト	



平成19年度 福島県スポーツ指導者研修会 県南ブロック研修会 実施報告

「ジュニア期のスポーツ指導の留意点」

本県の様々なスポーツシーンにおいて、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の活躍は目覚ましいものがあります。

今回は県南ブロックの公認指導者を中心に、研修会が行われました。有資格者の資質向上を目指す研修会であることはもちろん、4年に1回以上の研修(各競技により若干条件は異なります)を受けることが義務づけられており、本研修会はその義務研修として位置付けられています。



参加されたスポーツ指導者は、専門的な知識や技能を高めようと、熱心に研修に取り組んでいました。

- 日 時／平成20年2月3日(日) 9:30~15:30
- 会 場／白河市「サンフレッシュ白河」
- 内 容／開講式 **あいさつ** 平山 伊智男 氏(白河市教育委員会教育長) 藤田 彌五兵衛 氏(白河市体育協会会長)
 - ・講演「ジュニア期の発育・発達に添ったスポーツ指導のあり方」
 - 講 師 中澤 謙 氏(県立会津大学准教授)
 - ・研究協議「総合型スポーツクラブへ入ろう」 **司 会** 永井 祥一 氏(福島県スポーツ指導者協議会会長)
 - 講 師 齋藤 俊明 氏(中通り広域スポーツセンター)
 - ・講義/実技「ジュニア期におけるスポーツ指導の留意点」
 - 講 師 吉田 仁郎 氏(ARCクリニックよしだ整形外科院長)
 - 二瓶 敦志 氏・渡邊 ひとみ 氏(ARCクリニックよしだ整形外科トレーナー)

体育施設・スポーツ施設の紹介

自然に抱かれた本格的球場「表郷天狗山球場」

白河市は白河市、表郷村、大信村、東村の旧4市村が合併して平成17年11月7日に誕生いたしました。

本球場は平成7年「ふくしま国体」の会場として、平成5年3月表郷地区の表郷総合運動公園内に完成いたしました。両翼100m中堅122m内野混合土舗装一部人工芝、外野は天然芝で施設内に事務室、医務室、会議室、審判員室、放送席、記録室等があります。また、公園内に第二球場の表郷球場、ソフトボール、サッカー等ができる多目的グラウンド、体育館、多目的研修センター、屋内ゲートボール場、老人福祉センターが併設されているため、各種イベントが開催されています。

平成8年度(国体開催の翌年)より国体施設の有効利用の一環として東北関東選抜壮年軟式野球大会の会場となっております。大会は40歳以上の壮年による東北関東各県代表チームと前回優勝チームと地元チーム合計16チームで行われています。

次に特徴あるスポーツ教室としては、毎年ティーボール教室を実施しています。ティーボールは小学3、4年生の授業で取り上げられており、全国で急激に普及しています。表郷地

区でも10年前からとりいれて平成19年には埼玉県所沢市グッドウィルドームで開催された全国小学生ティーボール選手権大会で第三位となりました。平成20年度も5月にティーボール教室、9月に大会を開催する予定です。どこの地区からも参加可能です。大会要項を必要な方は下記まで



白河市表郷教育振興課 TEL 0248-32-4782

※ティーボールとはソフトボールとルールはほぼ同じです。大きく違うところはピッチャーがいなく本塁プレート後方に置いたバッティングティーにボールを載せ、その止まったボールを打つゲームです。



みんなでつくろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

はなわふれあい スポーツクラブ

2年目に突入した、「はなわふれあいスポーツクラブ」は、エネルギー満々で活動中です。

前年度に比べ事業数を増量！内容もより充実！！日々成長です。

競技的なスポーツ種目だけでなく、はなわでも知名度が高まってきたカローリングを定期活動にしたり、町内全域のシニア世代のために出張教室を毎週開催したりします。またイベントは、季節感たっぷりのウォーキング大会や、はなわの自然をからだいっぱい感じることができるアウトドアやカヌー教室、どろんこスポーツ大会など多数計画しています。

私たちは、どうしてもはなわを活発にしたいんです。そのために全力を尽くします。スポーツ愛好家に満足してもらうことはもちろんですが、スポーツクラブの究極の目的の一つである、「スポーツやからだを動かすことに対して、何も感じていない方々」もクラブに巻き込んで満足してもらえるような、アットホームなクラブを目指しています。

今後も、地域のみなさんの期待に応えるコミュニティを目指して、子どもの体力向上、成人の体力向上と健康増進、地域の教育力の活性化、住民の生きがいつくりの4本柱を掲げ事業を展開していきます。



キッズクラブ水泳



カローリング



カヌー教室



ウォーキング大会(岳)



シニア体力アップ健康教室

ONE POINT

「スポーツと健康」ワンポイント講座

(財)福島県体育協会スポーツ医科学委員会委員長
 <(社)日本医師会・(財)日本体育協会公認スポーツドクター>

本宿 尚 先生



～オーバートレーニング症候群とは～

なんとなく調子が悪い、記録が思う様にのびない時に練習のしすぎの事があります。

もしも練習に意欲がでない時は、練習のしすぎではないかということも考えてみましょう。

短期間のハードな練習で疲れがとれない時は単なるオーバートレーニングですから1週間か2週間で回復します。それに対して長期間のオーバートレーニングによる慢性疲労状態をオーバートレーニング症候群といいます。

トレーニングは負荷が大きければ大きい程トレーニング効果は大きくなりますが、トレーニングによる疲労と回復のアンバランスでオーバートレーニング症候群がおきています。主な症状として、1)運動後の疲れがなかなかとれない

2)食欲が減る 3)体重が減る 4)睡眠が十分にとれない 5)運動に対する意欲が減るなどがあります。

もしこうしたサインが見られたら思い切ってしばらくの間スポーツを中止して体調の回復をまつ必要があります。再度トレーニングを始める時は今迄の運動プログラムを見直して下さい。毎日トレーニングをすると筋力や持久力がアップすると思われがちですが中一日の休養をとる位の方がずっと効果があるといわれています。きちんと休養をとることが疲労回復のためであると共にトレーニング効果を高めることも忘れないで下さい。

トレーニングはあくまでも合理的に無理をしないでやる事が大切です。

INFORMATION

HOTNET

「HOTNET」は

福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

① 電話によるご相談 TEL 024-521-7896

② FAXによるご相談 FAX 024-521-7971

③ メールによるご相談 info@sports-fukushima.or.jp

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日頃スポーツに親しんでいる皆さん、スポーツ指導のための公認資格を取得してみませんか?財団法人日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて各年代に応じた指導でき、さらに競技力育成でもその知識や技能を発揮できる指導者の育成に力を入れています。20年度に開催する予定の指導員養成講習会は以下の通りです。

競技団体名/陸上競技 水泳 弓道

お問い合わせ:福島陸上競技協会 福島県水泳連盟 福島県弓道連盟
 財団法人福島県体育協会生涯スポーツ係 TEL 024-521-7896

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入ください。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会福島県支部
 電話 024-526-4600

平成19年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県信用組合協会	福島県信用金庫協会
福島県信用保証協会	(有)吾妻印刷	(株)ホシ製作所	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
キング印刷(株)	(株)福島民報社	福島民友新聞(株)	東亜道路工業(株)福島営業所
福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)	合資会社「東館」	福島テレビ(株)
東信建設(株)	佐藤工業(株)	福島交通(株)	(株)アルティア橋本福島工場
(株)東北装美	ゼビオ(株)	(株)環境部分析研究所	(株)古瀧
(株)モリヨシ技研	花春酒造(株)	福島県ゴルフ連盟	(株)ウエディングエルティ
呉羽環境(株)	関場建設(株)	新田産業(株)	(有)番場産業
東北建設(株)	(株)ひらい	東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)
富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合	大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)
福島日産自動車(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)	タニコー(株)
(株)福島中央テレビ	橋葉町体育協会	クリナップ(株)いわき事業所	東京電力(株)福島事務所
(株)アクト	東北電力(株)福島支店	山木工業(株)	(株)山川印刷所
(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所	(株)クレハいわき工場	福浜大一建設(株)
(株)加地和組	クレハ建設(株)	福島運送(株)	錦興業(株)
(株)福島テレビエンタープライズ	(株)渡辺組	(株)日進堂印刷所	堀江工業(株)
トップツアー(株)福島支店	大塚製薬(株)郡山出張所	陽光社印刷(株)	名木製帽店
(株)松崎	(株)海老名建設	(株)高橋建設	江花建設(株)
福島ガス(株)	(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	タナカ(株)情報ビジネス福島営業所
(有)エンドースクリーン	(株)NIPPOコーポレーション福島支店	ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)
オノヤスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)	スポーツニッポン新聞社福島支局	(株)レオック東北
(学)新潟総合学院FSG専門学校グループ	(株)日産サティオ福島	(株)トヨタレンタリース福島	(株)テレビユー福島
(株)福島放送	県高等学校体育連盟	ヤマハ発動機(株)ブル事業部東北営業所	福島観光自動車(株)
トーアエイヨー(株)	アルパイン(株)	白河信用金庫	ムネカタ(株)
福島県商工信用組合	福島信用金庫	福島銀行	(株)プリテックス
福島トヨベツ(株)	福島高校バレーボールOB会	(有)和田印刷	東北索道協会福島地区部会
竹屋旅館	(株)ル・プロジェ	(株)サンペンディング福島	

個人の部(加入順)

片平 俊夫	菅野 正行	下山田好宏	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫	佐藤 十次	内藤 繁
斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫	朽木 耕作	岩本 忠夫	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎
矢内 哲郎	本田 俊教	花井 宣明	星 光一	三瓶 昌久	国井 裕一	長岐 博	岩田 徹
伏見 俊哉	鈴木 浩一	服部 啓吉	吉田 伸一	穴戸 正幸	鈴木 義祐	佐藤 謙敬	橋 和彦
七宮 成夫	遠藤 均	福本 隆	上竹 毅	荒川 信郎	渡辺 知幸	渡辺 正仁	伊藤 隆司
真田 実	小椋 裕	滝田 勝彦	稲村 泰伸	菅波 智之	福士 寛樹	宗形 俊二	西郷 徹夫
神野美智男	柴山 進	須藤 博	関 博之	佐藤 武彦	穴戸 啓光	池田 昭宏	佐藤 信行
宗田 昌史	長谷川清治	柳沼 徹	渡辺 洋司	藤田彌五兵衛	酒井 卓	酒井 卓夫	田中 邦宏
星 香里	佐藤 弘樹	東城 正幸	矢澤 良伸	廣瀬 敬彦	富田 孝志	平石 家治	山田 知彦
高橋 一浩	鈴木 基司	渡邊 彌	白根 一英	鷲森 淳	佐藤 祀男	高橋 千昭	中條 雅彦
菅野 泰典	渡辺 勝	高橋 満	鈴木 栄喜				

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、8年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支援していただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会后5年間 ●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。

●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC/uSCtop.html
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail:hama@u-kouiki.jp

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

中通り広域スポーツセンター (たまかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail:naka@u-kouiki.jp

TEL&FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター (会津若松市ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail:aizu@u-kouiki.jp

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

第63回国民体育大会は、冬季大会をすでに終了し、平成20年度も本格的なスポーツシーズンに突入となります。一昨年から国体は夏季と秋季が一本化され、本大会と銘打たれました。今年度の本大

会は大分県での開催となります。地元福島県からの熱い声援を大分県にも届け、是非とも目標である10位台に振り返るよう、頑張ってください。